

## チャンドラゴーナ会事務局

世話人代表 角 正信(すみまさのぶ)

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

国際多文化共生研究所内

E-mail: [Sumi3Ngo@aol.com](mailto:Sumi3Ngo@aol.com)

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632

### 関西連絡所

〒657-0031 兵庫県神戸市灘区大和町 1-2-11

日本基督教団神和教会気付 森哲牧師

TEL :078-851-6671 [YRS04137@nifty.com](mailto:YRS04137@nifty.com)

### 愛媛連絡所

〒791-0245 愛媛県松山市南梅本町甲 58

医療法人中川病院 中川泰範理事長、容子気付

TEL 089-976-7811(代) FAX 089-976-7979

[youkonak@juno.ocn.ne.jp](mailto:youkonak@juno.ocn.ne.jp)

### 北海道連絡所

〒080-0044 北海道帯広市西 14 条北 6-4-1

帯広教会気付 森場さとし

TEL 01557-2-5396 [Mori-ba@cyber.ocn.ne.jp](mailto:Mori-ba@cyber.ocn.ne.jp)

### 派遣元:

(社団) 日本キリスト教海外医療協力(JOCS)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-33

TEL 03-3208-2416 FAX 03-3232-6922

<http://www.jocs.or.jp> [info@jocs.or.jp](mailto:info@jocs.or.jp)

### JOCS 関西事務局

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 聖ハ<sup>ニ</sup>加教会内

TEL 06-6359-7277 FAX 06-6359-7278



JOCS の先輩であるベシャワール会中村哲医師(中)に挨拶、  
激励を受ける宮川眞一医師(左)と角正信世話人代表(右)



### 宮川眞一(みやがわ しんいち)さん

愛媛県宇和島市生まれ。宇和島東高校、関西学院  
大神学部、大阪 YMCA 予備校、徳島大医学部卒業。  
福岡徳洲会病院勤務。大学時代に「アジア夏期学校」  
(SIEA)に参加、アジアの現状とその支援に共感。  
2005年9月より、JOCS ワーカーとしてバングラデ  
シユへ赴任。

### 宮川理世(みやがわ みちよ)さん

長野県飯田市生まれ。13歳より英国に滞在。  
カナダ・ヨーク大学、英国サセックス大学院卒業後  
帰国。松本市の医療機関に勤務。宮川眞一さんと結  
婚し福岡に在住。赴任に伴いバングラデシユへ同行。

### チャンドラゴーナ会 発起人(順不同・敬称略)

白井 進 日本基督教団福岡女学院教会牧師

松岡順之介 JCMA(日本キリスト者医科連盟)

福岡佐賀部会長

白浜 雅司 三瀬村国民健康保険診療所医師

松林 直 福岡徳洲会病院 副院長

中井 吉英 関西医科大学心療内科学講座教授

村上 公彦 (社)アジア協会アジア友の会専務理事

榛木 恵子 (特活)関西 NGO 協議会事務局長

錦織 一郎 (財)大阪 YMCA 総主事

中嶋 野花 (財)神戸 YWCA 総幹事

長尾 文雄 (社)好善社理事

池住 義憲 国際民衆保健協議会 日本事務所代表

二ノ坂保喜 バングラデシユと手をつなぐ会代表

角 正信 国際多文化共生研究所代表

\*支援会発足のために、今までの宮川さんの足跡を知る関係  
者を中心に、教会・病院・NGO等の幅広い層の人たちが発起  
人として、呼び掛けに加わっていただき、また広域的に事務  
局・連絡事務所を設けることができました。

## 「チャンドラゴーナ会」 バングラデシユの人々と共に歩む 宮川眞一医師夫妻を支える会

### ご案内とご協力をお願い



赴任先の CHC 病院と治療の様子

## 「チャンドラゴーナ会」事務局

世話人代表 角 正信

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

国際多文化共生研究所内

E-mail: [Sumi3Ngo@aol.com](mailto:Sumi3Ngo@aol.com)

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632

## 入会案内

### 活動内容

現地活動支援、報告会・学習会等開催、会員募集、  
会報作成・印刷・発送作業・IT 関連管理等

### 年会費（会計年度 7月1日～翌年6月30日）

原則派遣期間3年間（以降継続可能性有）

- ・会 員 3,000 円
- ・賛助会員 ー□ 1,000 円
- ・学生会員 ー□ 1,000 円
- ・維持会員・団体会員 ー□ 10,000 円

**会費以外の寄付・献品も随時お受けいたします。**  
**JOCS の会員としての登録もお願いいたします。**

年会費 5,000 円（詳細は別紙「JOCS 案内」参照）

郵便振替口座 00170-1-20920

「(社)日本キリスト教海外医療協力会」

### 会費・ご寄付の送金方法

1) 郵便払込（別紙払込取扱票または郵便局備付けの払込取扱票をご利用ください）

郵便振替口座 01750-7-77534

加入者名：チャンドラゴーナ会

2) 銀行振込口座（銀行窓口、ATM、インターネットバンキング等をご利用ください）

東京三菱銀行福岡支店 普通預金 2121511

チャンドラゴーナ会代表角正信(スミ マサノブ)

本会では、JOCS が長年行っています「使用済切手」  
「使用済プリペイドカード」収集のほか、事務的活動  
支援として会報印刷用紙、書き損じのハガキ・未使用  
切手のご寄付等も併せてお願いします。

### 連絡・問合せ先：「チャンドラゴーナ会」事務局

〒811-1111 福岡市早良区脇山 1-15-12

国際多文化共生研究所内

E-mail: [Sumi3Ngo@aol.com](mailto:Sumi3Ngo@aol.com)

TEL 090-5925-1940 FAX: 092-804-2632

## バングラデシュとは

インドの東隣、ホッダ河(ガンジス河)下流、亜熱帯モンスーン地帯。古くはベンガル人による王国も存在し、長年インド・ムガル帝国に支配され、19世紀後半からイギリス植民地に。1947年英領インドは、インドとイスラム教国のパキスタンに独立。ベンガル地方は、東パキスタンとなる。1950年代に始まった民族運動を経て、1971年にバングラデシュ人民共和国として独立。国連で定める最貧国のひとつで、貧困撲滅、保健衛生・教育などの開発が求められています。

人口 約1億4千万人（日本 約1億2700万人）

面積 約14.4万k㎡（日本の本州程度,日本37.8k㎡）

人口密度 1,019人/k㎡（日本337人同比）

言語 ベンガル語

宗教 イスラム教 86.6% ヒンドゥー教 12%

経済 ジュート、米、茶を中心とする農業国。

財政支出の半分近くが外国からの援助。

最近縫製品、革製品、冷凍魚類の輸出増化。

GNP 400米ドル/一人年（日本33,550米ドル同比）

平均寿命 62歳（日本82歳）

5歳未満児死亡率 69人(出生1000対)

（日本4人同比）

医師数 2人(人口1万人対)（日本19人同比）

識字率 男49% 女30%（日本男女99%以上）

（出展：「ユニセフ世界子供白書2004」他）

### チャンドラゴーナ(Chandragohna)の地域



## 「チャンドラゴーナ会」は、宮川眞一医師・

理世夫妻のバングラデシュ南東部チャンドラゴーナ  
での、地域医療活動を推進するために必要な支援活動  
とその広報、募金活動等を行っています。

二人はJOCS（日本キリスト教海外医療協力会）

の派遣ですが、本会はそれを側面的に「支える会」  
として、会費や寄付金によって運営されるものです。

本会の活動の趣旨・目的をご理解いただければ、  
思想・宗教・国籍など関係なく入会できます。現地  
の活動を随時お知らせする会報等をお送りしたり、  
報告会・学習会など行います。会員の情報共有の  
ためのメールマガジン(ML)「Chandra-net」を開設して  
います。

赴任先は、チャンドラゴーナキリスト教病院CHC  
(Christian Hospital Chandragohna)で、バングラ  
デシュ南東部のチッタゴン丘陵地帯に1907年設立さ  
れた、地域に根ざした医療活動を実施。多くの少数山  
岳民族が暮らす同地域で、唯一緊急手術のできる病院  
として、医療活動のみならず看護教育や地域医療など  
行っています。宮川眞一さんは、関西学院の神学部を  
卒業しても、海外医療協力の夢をめざして医師となり  
ました。その間に、伴侶の理世さんとの出会いもあり  
ました。その長い間の努力でその夢の実現を果たした  
二人を、物心両面から支えます。

「チャンドラゴーナ会」の目的は、

- 1) 宮川夫妻の働きを覚え、祈りによって支え
- 2) その働きを通じて、現地の人々への理解を深め
- 3) その支援を通じて、国際医療協力に連なる

ことです。会の運営は、ボランティアの自主運営で、  
事務局等を設置し数名の役員をおき、運営にかかる経  
費は支援会会員の会費・寄付等で行います。

どうか会の目的、趣旨を理解していただき、より多  
くの人たちの支援・ご協力をお願いいたします。

\* JOCSは、ネパールへ岩村昇医師、ペシャワール  
へ中村哲医師を派遣した国際医療協力の草分けの  
NGOです。ご存知の「使用済み切手を集めて」  
国際協力支援をしている団体です。